

2026 年度 慶應義塾大学
法学研究科入学試験 修士課程（秋期）民事法学・公法学専攻
外国語（英語）

<出題意図>

入学以降に必要となる英語論文の読解力を確認するためのものである。論文のように硬い文体の英文を十分に読み解くための一般的な語学力に加え、英語における法律学のテクニカル・タームを習得しており正確に翻訳することができるかという点を評価の対象としている。

以 上

2026 年度 慶應義塾大学
法学研究科入学試験 修士課程（秋期）政治学専攻
外国語（英語）

<出題意図>

本出題は、政治学における基本的な概念である民主主義に関して思想的、実証的両方の観点から検討している文章を適切に理解できているかどうかを問うものである。

以上

2026 年度 慶應義塾大学
法学研究科入学試験 修士課程（秋期）民事法学・公法学専攻
外国語（日本語）

<出題意図>

それぞれの設問について、以下のとおりである。

1.

本設問は、民事法学・公法学専攻の修士課程に在学するうえで要求される最低限度の日本語の読解力を備えているかどうかを問うものである。問題文の主要な内容を理解できているかどうかを問うものであり、重要な点を網羅的に把握できているかどうかという観点から評価した。

2.

本設問は、民事法学・公法学専攻の修士課程に在学するうえで要求される最低限度の日本語の読解力と表現力を備えているかどうかを問うものである。問題文における主要な概念の意味を正確に理解し、またそれを適切に説明できているかどうかを評価のポイントとした。

3.

本設問は、民事法学・公法学専攻の修士課程に在学するうえで要求される最低限度の日本語の読解力と表現力を備えているかどうかを問うものである。問題文で示された重要な考え方を抑えたうえで、それが提示されている具体例とどのように対応しているかが読み取れているかどうか、そして、その対応関係を適切に表現できているかどうかを評価のポイントとした。

以 上

2026 年度 慶應義塾大学
法学研究科入学試験 修士課程（秋期）政治専攻
外国語（日本語）

<出題意図>

それぞれの設問について、以下のとおりである。

問一

本設問は、本研究科の修士課程において、研究活動を遂行するうえで不可欠となる日本語の学術書や学術論文の読解力を問うものである。ここでは、政治エリート論が批判したマルクスの支配階級論の三つの特徴を、政治エリート論との対比を念頭に的確にまとめることが求められる。

問二

本設問は、前設問と同様に、日本語の学術書や学術論文の読解力を問うものである。ここでは、政治エリートと政治家・政治指導者との違いを、理論面と機能面からそれぞれ説明することが求められる。

問三

本設問は、学術的な日本語の理解力、応用力、表現力を問うものである。ここでは、政治エリート論の概念を正しく理解したうえで、それを出身国などにおける政治エリートの説明に応用し、適切な日本語で表現することが求められる。

以 上

2026 年度 慶應義塾大学
法学研究科入学試験 修士課程（秋期）共通
外国語（中国語）

<出題意図>

それぞれの設問について、以下のとおりである。

1. 哲学者、思想家、外交官として中華民国の言論界をリードした胡適の論説である。「民主憲政」に対する胡適の考えを中国語で正確に読み取ることができるか、とりわけ政治の論説に頻出する文型や用語を正確に解することができるかを問うものである。
2. 人工知能の導入によって戦闘のあり方や国際政治のパワーバランスにどのような変化をもたらされるのかを論じた論説である。軍事・安全保障に関する用語や中国語の論説に頻出する文型を正確に解することができるかを問うものである。

以 上

2026 年度 慶應義塾大学

法学研究科入学試験 修士課程（春期）共通

外国語（スペイン語）

<出題意図>

本試験問題について、以下のとおりである。

本設問は、法学研究科修士課程でラテンアメリカをはじめとするスペイン語圏の政治・法・社会に関する文献を読み解くために必要なスペイン語読解力および和訳能力を確認することを目的としている。与えられた文章は、ラテンアメリカ地域の民主化と経済改革に関する学術的議論の一部であり、抽象度の高い概念、専門用語、複雑な構文を含んでいる。

受験者が、個々の語彙や文法事項の理解にとどまらず、段落全体の論理構成や時間的推移、因果関係を適切に把握したうえで、日本語として自然で一貫した文章に再構成できているかが評価の対象となる。逐語訳的な訳出ではなく、原文の意味内容とニュアンスを損なわずに、読者にとって読みやすい日本語へと置き換える力が重視される。

また、社会科学系の文献で頻出する専門用語や複合時制、受動構文などに適切に対応し、論旨の流れを明瞭に伝えられているかどうかも重要な観点である。これらを通じて、入学後にスペイン語文献を用いて研究を進めるうえで必要な基礎的語学力と、内容理解力を備えているかを判断する。

以上